

令和4年度 朝日町教育委員会
事務事業点検・評価報告書
(令和3年度分)

令和4年8月

朝日町教育委員会

目 次

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について……………	1
1. 制度の概要及び目的 ……………	1
2. 点検及び評価の対象事業……………	1
3. 点検及び評価の方法 ……………	1
4. 学識経験者の知見の活用……………	1
II. 令和3年度教育委員会活動状況……………	2
1. 教育委員の選任状況 ……………	2
2. 教育委員会会議開催状況……………	2
3. 教育委員学校訪問 ……………	5
4. 各種会議、大会、研修会等への参加……………	6
III. 外部評価委員の意見 ……………	8
1. 総括 ……………	8
2. 教育委員会の活動について……………	8
3. 事務事業の点検・評価、今後の事務事業の企画運営にあたって……………	8
IV. 点検及び評価対象事業一覧 ……………	11
V. 事務事業点検・評価調書……………	12
整理番号 1 ～ 35	

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について

1. 制度の概要及び目的

平成 19 年 6 月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成 20 年 4 月 1 日施行）」の一部改正以降、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないことになりました。

また、この点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

これを受け町教育委員会では、効率的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、令和 3 年度に行った事務事業について、3 名の外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）の意見をいただきながら検証し、その結果を報告書としてまとめることとしています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検及び評価の対象事業

令和 3 年度に実施した朝日町教育委員会所管 35 事務事業のうち、全ての事務事業を対象に点検及び評価を行いました。このため当該年度分の対象率は 100%となっています。また、本年度は第 2 次朝日町教育振興計画の主要施策に関連する事業を選定して、より具体的な意見を外部評価委員からいただきました。

3. 点検及び評価の方法

各事務事業については、「必要性」及び「効率性・有効性」の観点で所管課の自己点検及び評価を行い、全ての事務事業について調書を作成しました。この結果に対して、より客観性を確保するために、外部評価委員より意見をいただきました。

4. 学識経験者の知見の活用

3 名の学識経験者を外部評価委員として「朝日町教育事務評価委員」に委嘱し、点検及び評価の内容についてご意見をいただき、報告書に反映しました。

朝日町教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
真 木 吉 雄	元 山形大学大学院教育実践研究科 教授
菅 井 道 也	有 識 者
菅 井 弓 子	有 識 者

II. 令和3年度 教育委員会活動状況

1. 教育委員の選任状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

職	氏 名	備 考
教 育 長	堀 俊 一	
委 員	五十嵐 義 一	職務代理者
委 員	井 上 幸 弘	
委 員	橋 間 博 美	
委 員	海 野 睦	

2. 教育委員会会議開催状況

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
令和3年 4月27日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 区域外就学の許可について ② 令和3年度小中学校職員及び事務局職員事務分担について ③ 令和3年度朝日町校長会活動方針及び研修課題等について ④ 令和3年度朝日町教育研究所運営方針について ⑤ 令和3年度朝日町成人式について ⑥ 第65回山形県縦断駅伝競走大会について ⑦ 令和3年度中学生海外派遣事業について ⑧ 令和3年度朝日町小学校陸上記録会について
	附議	議第8号 令和3年度朝日町教育支援委員会委員の委嘱について 議第9号 朝日町立中央公民館運営審議会委員(兼)朝日町立中部公民館運営審議会委員及び朝日町立西部公民館運営審議会委員並びに朝日町立北部公民館運営審議会委員の委嘱について 議第10号 朝日町文化財保護委員の委嘱について
	協議	1. 学校訪問、あさひ保育園訪問について 2. 教育委員研修会について 3. 令和3年朝日町教育委員会5月定例会の日程について 4. 令和3年度第1回朝日町総合教育会議の日程について
令和3年 5月25日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和3年度西村山地区中学校駅伝競走大会の結果について ② 令和3年度朝日町小学校陸上競技記録会の結果について
	附議	議第11号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見の申出について (令和3年度補正予算)
	協議	1. 令和3年朝日町教育委員会6月定例会の日程について
令和3年 5月25日 総合教育会議	協議	1. 学校の在り方検討委員会設置の方向性について 2. 意見交換

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
令和3年 6月22日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和3年度NRT検査結果について ② 令和3年度西村山中学校総合体育大会の結果について ③ 令和3年度朝日中学校2年生「職場体験」について ④ 令和3年度中学生海外派遣事業の進捗状況について ⑤ 第24回ひめさゆり俳句大会の実施について ⑥ 町民プールについて ⑦ 令和3年度「海の子山の子交流事業」～海の集い～について
	協議	1. 令和3年朝日町教育委員会7月定例会の日程について
令和3年 7月27日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和3年度朝日町教育支援委員会について ② 令和3年度小中学校運動会について
	附議	議第12号 令和4年度使用教科用図書採択について
	協議	1. 令和3年朝日町教育委員会8月定例会の日程について
令和3年 8月24日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和3年度東北中学校体育大会の結果について ② 第38回アップル町民駅伝競走大会の中止について
	附議	議第13号 令和3年度朝日町教育委員会事務事業点検・評価(令和2年度分)について 議第14号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見の申出について(令和3年度補正予算)
	協議	1. 令和3年朝日町教育委員会9月定例会の日程について
令和3年 9月28日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和3年度第63回県こども絵画展の入賞・入選について ② 令和3年度西村山中学校新人総合体育大会の結果について ③ 全国学力・学習状況調査の結果について ④ 第57回朝日町芸術文化祭の中止について ⑤ あさひ教育の日10周年記念講演会について
	附議	議第15号 「あさひまち未来の学校」検討委員会設置要綱について
	協議	1. 令和4年度実施計画ローリング(R4~6)について 2. 令和3年朝日町教育委員会10月定例会の日程について
令和3年 9月28日 総合教育会議	協議	1. 令和4年度実施計画ローリング(R4~6)について 2. 「あさひまち未来の学校」検討委員会について 3. 意見交換

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
令和3年 10月26日 定例会	報告	1. 教育長委任事項の報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 令和3年度山形県中学校新人総合体育大会（県南ブロック）成績について ② あさひ国際交流推進フォーラムについて ③ 「あさひまち未来の学校」検討委員会委員について ④ 中学生のためのオペラコンサートについて ⑤ 山響ハートフルコンサート in 朝日町について ⑥ 第67回西村山地区駅伝競走大会について ⑦ 第37回山形県女子駅伝競走大会について
	協議	1. 令和3年朝日町教育委員会11月定例会の日程について
令和3年 11月24日 定例会	報告	1. 教育長委任事項の報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 朝日町PTA連合会からの要望書について ② 朝日町校長会からの要望書について ③ 山形県学力調査の結果について ④ 第24回「ひめさゆり俳句大会」入選結果について ⑤ 令和3年度第2回学校運営協議会について ⑥ 令和3年度県新人体育大会決勝大会成績について ⑦ 第67回西村山地区駅伝競走大会の成績について ⑧ 第37回山形県女子駅伝競走大会の成績について
	附議	議第16号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見の申出について（令和3年度補正予算）
	協議	1. 令和3年朝日町教育委員会12月定例会の日程について
令和3年 12月21日 定例会	附議	議第17号 令和3年度朝日町教育委員会委員の議席の指定について
	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 朝日町PTA連合会からの要望書への回答について ② 令和3年度朝日町小学校スキー記録会について ③ 令和4年度予算要求概要について ④ 令和3年度準要保護児童生徒援助費辞退届について
	協議	1. 令和4年朝日町教育委員会1月定例会の日程について 2. 「あさひまち未来の学校」検討委員会について
令和4年 1月25日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 第34回朝日町生涯学習推進大会について
	附議	議第1号 令和3年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 議第2号 令和4年度特別支援学級への就学が必要な児童生徒の決定について
	協議	1. 令和3年度 子どもの芸術文化活動に係る朝日町教育委員会表彰者の決定について 2. 令和4年朝日町教育委員会2月定例会の日程について 3. 令和4年度朝日町教育委員会定例会の年間日程について

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
令和4年 2月22日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和3年度朝日町体育協会表彰受賞者について ② あさひまち未来の学校のあり方に関するアンケート調査結果について
	附議	議第3号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見書の申出について(令和3年度補正予算) 議第4号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見書の申出について(令和4年度当初予算)
	協議	1. 令和4年朝日町教育委員会3月臨時会の日程について 2. 令和4年朝日町教育委員会3月定例会の日程について
令和4年 2月22日 総合教育会議	協議	1. 令和3年度の朝日町の教育の推進について(総括) 2. これからの朝日町の教育の推進について 3. あさひまち未来の学校の在り方に関するアンケート調査結果について 4. 意見交換
令和4年 3月7日 臨時会	附議	議第5号 令和4年度朝日町立小中学校教職員の人事異動内申について
令和4年 3月22日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和3年度朝日中学校卒業生の進路先について ② 令和4年度学級編成について ③ 山形県市町村連絡協議会・令和4年度会議開催日程について
	附議	議第6号 令和4年度特別支援学級への就学が必要な児童生徒の決定について 議第7号 令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 議第8号 令和4年度朝日町立小中学校の校医等の委嘱について
	協議	1. 令和4年度朝日町学校教育・社会教育の重点について 2. 令和4年度・令和5年度西村山市町教育委員会連絡協議会副会長兼山形県市町村教育委員会協議会理事(県副会長)の選出について 3. 令和4年朝日町教育委員会4月定例会の日程について

3. 教育委員学校訪問

年月日	実施校	内容
令和3年5月21日	朝日町立朝日中学校	①学校経営概要説明、懇談 ②授業参観並びに校舎等巡回 ③教職員・教育委員紹介 ④学校経営へのアドバイス
令和3年5月28日	朝日町立西五百川小学校	
令和3年6月11日	朝日町立宮宿小学校	
令和3年6月29日	朝日町立大谷小学校	

※ 上記以外に町立学校の「授業研究会(20回)」に教育委員の参加を可能とし、また教育長及び事務局職員も参加または助言者として参画した。

4. 各種会議、大会、研修会等への参加

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者 等
令和3年4月1日	町辞令交付式	開発センター	教育長
令和3年4月1日	朝日町教職員辞令交付式	創遊館	全員
令和3年4月7日	各小中学校入学式	各小中学校	来賓要請なし
令和3年4月29日	朝日町成人式	創遊館	
令和3年5月10日	第1回学校運営協議会	創遊館	全員
令和3年5月19日	小学校陸上競技記録会	西小グラウンド	来賓要請なし
令和3年6月4日	西五百川小学校相撲大会	西小相撲場	来賓要請なし
令和3年6月22日	保育園参観（保小中連携事業）	あさひ保育園	全員
令和3年7月1日	西村山市町教育委員会連絡協議会	朝日町（創遊館）	全員
令和3年7月9日	校長・教頭合同研修会	創遊館	全員
令和3年8月6日	山形県市町村教育委員会大会 【コロナ禍のため中止】	南陽市	
令和3年8月28日	朝日中学校体育祭	朝日中	来賓要請なし
令和3年9月5日	西五百川小学校運動会	西小グラウンド	来賓要請なし
令和3年9月7日	大谷小学校運動会	大谷小グラウンド	来賓要請なし
令和3年9月11日	宮宿小学校運動会	宮小グラウンド	来賓要請なし
令和3年10月10日	第38回アップル駅伝競走大会 【コロナ禍のため中止】		
令和3年11月2日 ～3日	朝日町芸術文化祭 【コロナ禍のため中止】		
令和3年11月6日	あさひ国際交流推進フォーラム	創遊館	全員
令和3年11月7日	「あさひ教育の日」制定10周年 記念講演会	創遊館	全員
令和3年11月18日	「あさひまち未来の学校」検討委 員会①	創遊館	教育長

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者 等
令和3年12月16日	「あさひまち未来の学校」検討委員会②	創遊館	教育長
令和3年12月18日	朝日自然観スキー場開き	自然観スキー場	教育長
令和4年1月4日	町辞令交付式	開発センター	教育長
令和4年2月2日	小学校スキー記録会 【コロナ禍のため中止】		
令和4年2月22日	第3回学校運営協議会	創遊館	全員
令和4年2月24日	「あさひまち未来の学校」検討委員会③	創遊館	教育長
令和4年2月27日	生涯学習推進大会 【コロナ禍のため中止】		
令和4年3月16日	朝日中学校卒業式	朝日中学校	来賓要請なし
令和4年3月18日	各小学校卒業式	各小学校	来賓要請なし
令和4年3月31日	町退職者辞令交付式	役場庁舎	教育長

Ⅲ. 外部評価委員の意見

1. 総括

第2次朝日町教育振興計画（以下「2教振」）には、「計画の進行管理は主要な施策の評価などを通じておこなう」こと、『教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価』に基づいて評価を行うとともに評価の結果を公表することとされ、この事務事業点検・評価作業との関連性が明示されている。令和4年度は2教振の中間見直しの年度に当たっており、令和3年度の事務事業を点検・評価することは、上半期分の成果や課題を見いだすうえで重要な作業に位置づけられる。

計画が実施された平成30年度以降、「コミュニティ・スクールの導入」や「Newアクション事業の実施」などが新規に取り入れられたが、これらは目標実現のための具体的取り組みとして注目すべき事業といえる。また、新型コロナウイルス感染症の蔓延など予測不能な出来事も生じ、終息が見えない中で多くの事業が複数年度にわたって中止せざるを得ないなど、事業執行に多大な影響を及ぼしている。こうした状況は事務事業の全般にマイナス効果をもたらしている反面、事業の有意性を考え直す機会であるとも捉えることができる。変更や中止を余儀なくされた事業として、学校教育では入学式や卒業式、修学旅行、運動会等のあり方等、社会教育では公民館主催の各種事業等があるが、変更や中止がどのように影響を与えたのか把握することで改善策の構築へとつながり今後の施策の在り方に一考を投じてくれるものとなる。

本事務事業点検・評価を決して単年度のみでの評価とせず、2教振下半期に向けたプロセスとして捉えていきたい。

2. 教育委員会の活動について

朝日町の小学校の在り方（あさひまち未来の学校）について、教育委員会はもとより総合教育会議のすべての会においても協議がなされていることは、町行政が一体となって取り組もうとする姿勢を示すものであり望ましい姿であるといえる。町民各層の意見を踏まえながら、決して行政主導に偏ることがないように留意して進めていただきたい。

教職員の働き方改革や部活動の地域移行など、教育委員会の中で協議すべき事項については、十分に検討いただきたい。

3. 事務事業の点検・評価、今後の企画運営について

(1) 全体

前年度に引き続き令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って中止せざるを得ない事業もあったが、前年度の経験を活かし感染予防対策を取りながら、やれる範囲で工夫して事業を実施されたことは高く評価できる。

予算と決算の差引額に関する記載が定着化し、より分かりやすくなった。多くがコロナ禍により影響が要因となっており、次年度に向けた予算策定に際して一定の配慮をしていく必要が求められる。

「5. 事業の評価」では、公民館事業を除いて課題点より成果事項の方が多く記載されている。それだけに各事業の価値付けがなされたと捉えることができる。課題点への対応については、解決策についてできるだけ具体性をもって「6. 事業の方向性」に示すことが望まれる。

(2) 学校教育関係

① 教育委員会事務局費

「コミュニティ・スクール」、「学校運営協議会」、「地域学校協働本部」、「地域活動推進員」など新たな用語が多く使われるようになってきており、関係者以外にはわかりにくいものとなっている。児童生徒のいない町民に対しても理解できるよう対策を講じる必要がある。

「あさひまち未来の学校検討委員会」が設置されたことで、今後の学校の在り方について町民が一体となった検討がなされることに期待したい。その際、検討委員会と学校運営協議会との連携や、地域住民への進捗状況の説明など情報共有に向けた取り組みがなされるように努める必要がある。

地域活動推進員を増員したことにより教員の負担がさらに軽減されるとともに、地域の方々と児童生徒の交流も増加し、双方にとって良い刺激となっている。地域に子どもが少なくなっている今、今後とも地域の先生との交流を大切にしていきたい。

② 奨学金貸与事業費

申し込み者が少なくなっている今、町の奨学金の役割について、コロナ禍の状況も見据えながら今後のあり方を検討していきたい。

滞納繰越額が300万円を超えたことで、今後如何に対応していくのか注視したい。実行可能な滞納対策を早期に講じるとともに、滞納要因を把握しながらこれからの事業運営に努めていくことが重要となる。

③ 教育研究所費

教職員の資質向上を目的に、学力向上や生徒指導は学校教育の中核をなすものであり、これらを中心に組み込まれていることは、教職員の負担を増やさないうえで妥当性がある。ICT教育に関わる研修の充実が掲げられているが、負担軽減につながるよう検討していくことが望まれる。

学社連携や保小中連携一貫教育はこれからますます大事になると思う。できるだけ早いうちから家庭教育の大切さを保護者に感じてもらい、子どもたちが健やかに成長できるように支援してもらいたい。学力向上だけでなく、基本的な生活習慣、コミュニケーション能力などいろいろな方面の力が確実についていくように願っている。

④ 小学校教育振興費、中学校教育振興費

ICT支援員を試行的に配置したことによる成果を踏まえ、児童生徒の学習効果への貢献と教員の負担軽減が進むよう、積極的な配置が望まれる。

特別な支援が必要な子どもへの対応については、保護者の理解と協力が必要なことは当然のことといえる。保護者にとって懇切丁寧な説明となること、学校と教育委員会関係者との対応にずれが生じないことなど、両者の連携を密にしながら十分な配慮をして対応していくことが必要である。

不登校対策について、スクールカウンセラーや教育相談員に加えて、実働としての学校と家庭・地域との橋渡し役を担うためのスクールソーシャルワーカー（SSW）の配置が望まれる。教員の負担軽減にもつながることから、SSWの配置は教育委員会の大きな役割ともいえる。

⑤ 外国語活動事業費

中学生海外派遣事業について、コロナ禍のため米国への海外派遣は中止となっているものの、国内ではあるが代替の企画が充実しており、8名の参加を得て所期の目的が達成されていることは好ましいことである。

A L Tの保育園派遣は2名体制になった成果の一つであろう。「英語活動CAN-DOリスト」の活用を通して学習成果の検証を行いながら、英語教育が形骸化しないように事業の継続に当たっていただきたい。

(3) 生涯学習関係

① 文化財保護費

個人所有の有形文化財の維持・保存については、例えば他の自治体で実施されているクラウドファンディングのように、事業に共感する方々から資金を調達するなど多様な取り組みが考えられる。町にとって貴重な文化財であるからこそ、アイデアを出し合って将来に向けた取り組み方法を検討していきたい。

② 中央公民館事業費、西部公民館事業費、北部公民館事業費

コロナ禍で大半の事業が中止になったが、中央公民館での「家庭教育通信」の発行、西部公民館での「楽笑楽生こうぞ」や「陶芸教室」、北部公民館での「ドキドキ探検隊」や「肩こり・腰痛改善体操」など可能な範囲で実施できたことは、各公民館の努力の結果であり成果といえる。反面、三つの公民館に共通する課題としてあげられるのが「高齢者教室」の中止である。高齢者はコロナウイルス感染弱者であるがゆえに教室の再開には躊躇せざるを得ないであろうが、高齢者の居場所づくりのためにも代替となる事業の構築や取り組みを検討する必要がある。

年齢を超えた学び合いの場として、高齢者が子どもたちに教えるだけでなく、若い人が高齢者に教える時に助手をする（スマホやパソコンの相談に応じるなど）など、相互に教え合い学び合う楽しさを知る機会を提供し、自主的な学びが広がるよう検討していただきたい。

③ つながり育てる人材育成事業

「New アクション事業」に2団体の応募があったことは、好ましいことである。資金面のみならず、活動の様子を町内外に発信するような支援策があれば事業のPRにつながると思われる。

「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」への参加者ゼロが続いているが、若い世代の人材育成のための新たな事業の発掘や町独自の事業開発など見直しを図る必要がある。

④ 保健体育総務費

中学校運動部活動の地域移行については早急な検討が必要であるが、町単独で解決できるものではなくってきている。近隣の市町との連携や中体連組織との協議が必要となることから、広域的な取り組みができるよう広く働きかけることが急務である。

IV. 点検及び評価対象事業一覧

事務事業名	担当課・係	整理番号
教育委員会費	教育文化課学校教育係	1
教育委員会事務局総務費	教育文化課学校教育係	2
教育委員会奨学金貸与事業費	教育文化課学校教育係	3
教育研究所費	教育文化課学校教育係	4
廃校管理費	教育文化課学校教育係	5
小学校管理費	教育文化課学校教育係	6
中学校管理費	教育文化課学校教育係	7
小学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	8
中学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	9
小学校遠距離通学費	教育文化課学校教育係	10
中学校スクールバス運行費	教育文化課学校教育係	11
小学校整備事業費	教育文化課学校教育係	12
中学校整備事業費	教育文化課学校教育係	13
小学校教育振興費	教育文化課学校教育係	14
中学校教育振興費	教育文化課学校教育係	15
外国語活動推進事業費	教育文化課学校教育係	16
小学校給食費	教育文化課学校教育係	17
中学校給食費	教育文化課学校教育係	18
社会教育総務費	教育文化課生涯学習係	19
文化財保護費	教育文化課生涯学習係	20
町史編さん費	教育文化課生涯学習係	21
青少年健全育成推進事業費	教育文化課生涯学習係	22
自治公民館整備事業費	教育文化課生涯学習係	23
中央公民館事業費	教育文化課生涯学習係	24
西部公民館事業費	教育文化課西部公民館	25
北部公民館事業費	教育文化課北部公民館	26
創遊館管理費	教育文化課生涯学習係	27
西部公民館管理費	教育文化課西部公民館	28
北部公民館管理費	教育文化課北部公民館	29
放課後子どもプラン事業費	教育文化課生涯学習係	30
つながりで育てる人材育成事業	教育文化課生涯学習係	31
図書館費	教育文化課生涯学習係	32
文化振興費	教育文化課生涯学習係	33
保健体育総務費	教育文化課生涯学習係	34
体育施設管理費	教育文化課生涯学習係	35

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	01	教育委員会費

2. 事業の目的

事業の目的	教育委員会定例会を原則月1回開催し、学校教育、社会教育の課題を協議、調整、意思統一を図る。 学校訪問を通して、常に教育の現場を把握し適切な指導助言を行う。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及び4人の教育委員 ・定例教育委員会12回開催、臨時会1回開催、附議事件18件 ・総合教育会議3回開催 ・西村山市町教委連絡協議会総会・研修会（朝日町） ・山形県市町村教育委員大会【コロナ禍のため中止】 ・教育委員視察研修【コロナ禍のため中止】 ・各校学校訪問 西小5/28、宮宿小6/11、大谷小6/29、朝日中5/21 ・各種事業への参加（教職員辞令交付式は参加、 【コロナ禍のため参加せず】入学式、小体連陸上、小学校運動会、卒業式） ・【予算と決算の差引額が多い理由】 コロナ禍による事業減少等があったため
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,253,000	決算額	1,007,052	差引額	245,948
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○当町担当で西村山市町教委連絡協議会総会を開催し、GIGA スクール構想やコロナ対策などの情報共有と認識を新たにすることができた。また、定例会などにおいて、町の実情に即した課題を協議題として設定することにより、より充実した会議にすることができた。 ○総合教育会議を3回開催し、町長と教育委員会とが教育的課題について共通理解を図った。 ○年度の早い時期に学校を訪問し、学校の現状把握と情報共有ができた。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の更なる資質向上のため、定例会等を利用して町独自研修を継続して実施するとともに、今後も時宜を得たテーマを考えながら議論が深まるよう工夫していく。

事務事業点検・評価調書

2

1. 事務事業名

事務事業名	教育委員会事務局費
-------	-----------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	適切な学校運営に必要な各種事務を行う。 第6次朝日町総合発展計画及び第2次朝日町教育振興計画に基づいた事務の執行を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務事業点検・評価（外部評価委員3人） 評価委員会2回開催、9月一般公開 ・第24回小中学生ひめさゆり俳句大会（377句） ・令和4年度入学児童（40人）を対象に就学時健診（10/6）を実施 内科健診、眼科、耳鼻科、歯科、聴力、視力、知能検査 ・教育支援委員会を3回開催 ・県費教職員健康診断（全員受診） ・生活キャンペーン・・・あさひ教育の日関連事業で実施「講演会・チラシの配布」 ・スクールガードリーダー1人を配置し、パトロールを実施。（年間35日） ・会計年度任用職員（事務補助）を1人配置 ・地域活動推進員（統括コーディネーター1名、西小1名、朝日中1名）を配置 ・各学校をコミュニティ・スクールに指定し、学校運営協議会を3回開催。（5/10, 10月中, 2/22） ・コミュニティ・スクール先進校視察。【コロナ禍のため中止】 ・学校運営協議会委員を対象に年1回研修会を開催【コロナ禍のため中止】 ・あさひまち未来の学校検討委員会の設置（11/18, 12/16, 2/24開催） アンケート調査の実施、「あさひまち未来の学校検討委員会だより」の発行（2回） ・【予算と決算の差引額が多い理由】 教職員健康診断委託料、コロナ禍による報酬費やコミュニティ・スクール事業会計年度任用職員報酬の残

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	10,709,000	決算額	8,884,404	差引額	1,824,596
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動推進員を配置し、学校と地域が連携できるよう調整を行い、地域学習をスムーズに行うことができた。 ○学校運営協議会では毎回熟議を行い、学校の今の課題や育てたい児童生徒像などの情報共有を行っている。また、その内容をコミュニティ・スクール通信を発行し町民へ広く周知することにより、地域と学校の連携・協働の意識の高揚に徐々に繋がっている。 ○前年度の大谷小学校に引き続き、宮宿小学校にも地域学校協働本部を立ち上げ、学校と地域が連携・協働した教育活動を推進することができた。 ○「いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめ問題対策連絡協議会」において、いじめの実態を共有し、学校と関係機関が連携して未然防止に当たった。また、学校においては、日常的な児童生徒の細やかな観察や定期的なアンケート調査を実施し、早期発見・迅速対応を行うことでいじめの解決を図るとともに新たないじめにつながらないように努めた。 ○小中学校のこれからのあり方及び望ましい学校教育環境について「あさひまち未来の学校検討委員会」を立ち上げ、協議検討を進めることができた。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・第2次朝日町教育振興計画に基づいた目標値のこれまでの達成率や事務事業点検・評価に基づき、第2次朝日町教育振興計画の中間見直しを行う。 ・就学時健診日程は1日とし、学校医の検診時間や児童の移動の時間を考慮した体制づくりを行う。 ・教職員の「働き方改革」を推進するために、校務支援ソフト等の導入を計画し、事務的な業務の軽減並びに児童・生徒とじっくり向き合う時間の確保を図っていく。 ・地域学校協働本部の設置、地域活動推進員の増員により地域と学校の連携・協働を強化し、コミュニティ・スクールを推進していく。また、活動について町民へ周知するため、通信等を活用しながらわかりやすい形で発信していく。
--

事務事業点検・評価調書

3

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	奨学金貸与事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校に修学する者のうち学費の支弁が困難と認められる者を支援するため、その修学に必要な資金を貸与する。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせ板による周知 (2月) ・奨学金貸与申請者の審査会 申し込みなしのため開催なし ・貸与件数 8件 R3 貸与額 3,600,000円 ・返還件数 56件 R3 定時返還請求金額 7,477,600円 ・滞納件数 14件 3,609,750円 <ul style="list-style-type: none"> 内訳 現年度未納額 528,000円 滞納繰越額 3,081,750円 ・年度末基金残高 101,435,550円 <ul style="list-style-type: none"> うち 現金 41,491,900円 貸付金 59,943,650円
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	21,000	決算額	8,582	差引額	12,418
-----	--------	-----	-------	-----	--------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>△返還者について住所変更の際などの届け出が出されず奨学金システムの活用の一部支障が出ている。</p> <p>△滞納については新規の滞納者をださないように、未納の連絡などを強化していく。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・住所変更等を把握した際は、変更届を提出するよう要請していく。 ・返還方法については、引き続き返還計画を提出してもらい無理のない返還となるよう努めていく。(月賦払い、半年賦払い、年賦払い) ・滞納者には、督促通知及び電話、自宅への訪問等を実施し返還請求を行う。それでも滞納が続く場合には、連帯保証人との話し合いの機会をつくることを検討していく。滞納要因を把握しコロナ禍が原因で滞納になっている場合は猶予なども考慮していく。 ・町の奨学金利用者は減少傾向にあるが、その一因として日本学生支援機構奨学金の制度拡充や教育ローンの低金利などによるものと思われる。町の奨学金の役割やニーズを調査し具体的に検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育研究所費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	03	教育研究所費

2. 事業の目的

事業の目的	教職員の資質向上を図る。
-------	--------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の各部会における研修、研究、全体研修 課題研究部会（地域連携推進 19 人、外国語教育 18 人、ICT 教育 18 人）を 2 回開催 校務研究部会（養護教諭部会 5 人 4 回開催、事務職員部会 5 人 6 回開催） 学力向上委員会 6 人 2 回開催 子育て生徒指導部会 21 人 2 回開催 読書活動推進委員会 13 人 1 回開催 保小中連携推進部会 15 人 6 回開催 教育講演会 町めぐり 赴任 1・2 年目の教職員 7/31 ・朝日町教育委員会指定研究校 大谷小学校 2 年次 授業研究負担金（助成）150,000 円 ・NRT 検査、知能検査（5 月）、CRT 検査（12 月～1 月）、Q-U アンケートを公費負担で実施。 ・教育研究所所報（第 24 号）を発刊（事業の経過を掲載） ・【予算と決算の差引額が多い理由】コロナ禍による講演会のオンライン開催など想定より支出減のため
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,833,000	決算額	1,565,582	差引額	267,418
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○教職員の資質向上に資するための研究機関としての意義は大きいものがある。学力向上に関して、学力検査（NRT）や全国学力・学習状況調査の課題共有と今後の取組など、具体的な数値をもとにしながら指導改善に取り組むことができた。</p> <p>○学力向上委員会の機能を町教務主任会に置いた。授業改善や指導力向上について毎回話題にし、年 2 回は時間をかけて協議した。各校の取り組みを情報交換・共有し、小中連携を意識して今後も継続していくことが大事である。</p> <p>○GIGA スクール構想による ICT 教育の推進のために、令和 3 年度に導入した学習支援ソフト「ミライシード」の操作方法について、全職員を対象に研修会を実施した。新年度から各校の実情に合わせて授業等で活用されている。</p> <p>○「子育て生徒指導部会」では、『育てよう生きる力』～地域とのかかわりを広げよう～の推進をテーマに、学校・PTA・保育園・公民館等での活動などを情報交換することができた。</p> <p>○会議の精選や授業等における地域人材の活用など、各校の実情に応じて働き方改革を意識した教育活動が展開された。</p> <p>△保小中連携一貫教育の視点から、保育士と教員の合同研修会を年 1 回開催している。特に保育士の研修機会を増やすために、小・中学校の授業研究会なども参観できる体制を整え、積極的な参加を促していく。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上委員会で各校の学校研究や授業改善等、学力向上対策についての研修・情報交換を行うとともに評価の在り方について研究した。令和 4 年度は学習指導ハンドブックを作成・検討することを通して町内教職員で共有を図る。 ・GIGA スクール構想による一人一台端末配置に伴い、ICT 教育に関わる研修を一層充実させる。また、各校における ICT 支援員の活用充実と、家庭学習とつなげるための環境設定やタブレット使用のルールについて検討する。 ・令和 3 年度作成の小学校社会科副読本のデジタルブックについて、実際に活用することで有用性など情報を共有する。 ・学社連携やいじめ防止対策を担う「子育て生徒指導部会」や保小中連携一貫教育を担う「保小中連携推進部会」は今後も継続していく。また、「あさひ教育の日」の活動と連動させるため、各部会のテーマの見直しなども検討していく。 ・教職員の負担が増えないように教育研究所の組織や研修内容等を見直し、教職員の「働き方改革」をさらに推進する。 ・夏季研修会の講演会では、昨年度アンケートによる「少人数学習のよさや小規模校における地域連携を具体的に学びたい」という教職員の課題意識に寄り添い、研修を深めるようにする。 ・保育士と教員の合同研修会の場に限らず、幼児教育に係る幅広い研修の場について周知したり、「子どもの行為の背景をどうとらえるか」など校種の枠を超えたテーマで話し合う場を設けたりすることで、教員だけでなく保育士の研修機会を一層拡充していくようにする。

事務事業点検・評価調書

5

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	廃校管理費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	旧小学校施設を利用する町民の利便性確保のため、日常の維持管理を行う。
-------	------------------------------------

3. 事業の実施状況

<p>・廃校（旧立木小、旧大沼分校）の管理 維持費として、電気料921,041円、水道料29,451円</p> <p>【現在の使用状況】</p> <p>旧立木小：立木研修センターとして青少年活動やスポーツ少年団等の町民や各種団体が利用年間を通して、3人の芸術家がアトリエとして、制作活動のため使用</p> <p>旧大沼分校：校舎の一部（主に1階）を、大沼区が大沼公民館として利用 民具の収蔵場所として2階の部屋を使用（民具の管理は生涯学習係）</p>

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,257,000	決算額	1,251,378	差引額	5,622
-----	-----------	-----	-----------	-----	-------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○地域住民や町内の各種団体等が利用する際の安心と安全に配慮して、施設設備の保守点検等を実施した。結果、利用に支障が生じていない。</p>

6. 事業の方向性

<p>・使用に支障がないよう適切な維持管理を行っていく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	児童の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいる施設があるものの、法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施 ・ 光熱水費、通信運搬費について月別状況を各校に通知し、節電、節水等を指導 ・ リフト点検、ボイラー点検、プール保守点検実施 ・ R2年度からの繰越分（学校保健特別対策事業補助金） 備品 電子黒板 498,300円 各校1台ずつ（計3台） 他、空気清浄機、印刷機等 計 1903,550円 消耗品 計 499,000円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	20,309,000 繰越明許 2,403,000	決算額	19,581,663 2,402,550	差引額	727,337 450
-----	------------------------------	-----	-------------------------	-----	----------------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○各種点検を実施し、適正な管理ができた。 ○光熱水費は、各学校に対して定期的に利用状況を通知し、節電、節水等呼びかけた結果、前向きな取り組みにより経費削減に効果が出ている。

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。 ・ 節電、節水等の呼び掛け及び設置したエアコン使用については省電力化も含めて今後も継続して実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	生徒の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいるものの法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施 ・ 光熱水費、通信運搬費について月別状況を通知し、節電・節水を指導 ・ 会計年度任用職員（事務補助）を継続して1人配置 ・ R2年度からの繰越分（学校保健特別対策事業補助金） 備品 空気清浄機 470,800円 他、印刷機、サーマルカメラ等 計 659,010円 消耗品 計 141,000円
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	9,411,000	決算額	8,717,901	差引額	693,099
	繰越明許 801,000		800,010		990

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○各種点検を実施し、適正な管理ができた。 ○光熱水費は、中学校に対して定期的に利用状況を通知し、節電、節水等と呼びかけた結果、前向きな取り組みにより経費削減に効果が出ている。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。 ・ 節電、節水等の呼び掛け及び設置したエアコン使用については省電力化も含めて今後も継続して実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や児童自身の健康維持に対する意識を高めることにより、児童が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・学校医6人、薬剤師2人を委嘱し、各種健診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施 ・山形県成人病検査センターへ各種検査(尿、貧血、心電図)を委託 ・学校での集団健診を実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとり、例年と健診時期をずらすなど万全を期して実施 欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施 ・児童の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び各学校保健委員会を中心に啓発指導を実施 ・学校保健委員会の開催 ・【予算と決算の差引額が多い理由】 学校医の出勤日の減によるもの

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,577,000	決算額	2,293,254	差引額	283,746
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

○集団健診未受診者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の健診が終了できた。

6. 事業の方向性

・未受診者については、早期に健診できるよう継続して対応を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や生徒自身の健康維持に対する意識を高めることにより、生徒が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・学校医4人、薬剤師1人を委嘱し、各種健診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施 ・山形県成人病検査センターへ各種検査(尿、貧血、心電図)を委託 ・学校での集団健診を実施 欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施 ・生徒の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び学校保健委員会を中心に啓発指導を実施 ・学校保健委員会の開催
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,470,000	決算額	1,335,905	差引額	134,095
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

○集団健診未受診者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の健診が終了できた。
--

6. 事業の方向性

・未受診者については、早期に健診できるよう継続して対応を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校遠距離通学費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学児童に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

<p>遠距離から通学している児童数 55人 (25%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス運行による通学 (三中線：会計年度任用職員 和合線・上郷線：業者委託) 太郎地区5人、三中地区7人、松程4人、上郷地区12人、和合地区16人、沢内地区4人、大沼・大暮山2人(立木、上郷、和合、大暮山の登校は中学校スクールバスを利用) ・タクシー運行による通学 (業者委託) 太郎方面 (下校)、沢内方面 (下校、1月より登下校)、大暮山方面 (下校) 沼ノ平 (登下校) 4人、中沢 (下校) 1人 ・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。 ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品交換など修繕には万全を期している。 ・【予算と決算の差引額が多い理由】安全運行のため例年並みの予算を確保したが、修繕費等が想定より少なかったため
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	9,909,000	決算額	6,977,723	差引額	2,931,277
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> ○家庭、学校、教育委員会の連携のもと計画どおりの運行ができた。 ○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。 ○遠距離通学の対象児童が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。 ○学校等と協議し、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ下車場所を調整している。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。 ・会計年度任用職員の運転手に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。 ・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。 ・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。 ・少子化・防犯上の問題など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区が拡大しているが、利用する児童生徒が安全に登下校できるよう運行方針及び利用基準を検討していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校スクールバス運行費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離から通学している生徒 81人 (50.9%) ・スクールバス3台運行 松程線 会計年度任用職員 (9人、冬期のみ能中・川通1人) 大沼線 会計年度任用職員 (送橋方面下校のみ、和合地区冬期下校のみ、登校時は小学生のみ乗車) ※1月より業者委託 立木線 会計年度任用職員 (9人、冬期のみ西船渡4人) 上郷線 業者委託 (6人) (小学生と同乗) 和合線 (6人、(水本・送橋方面) 業者委託 (小学生と同乗/下校は大沼線とスクールタクシー) ・スクールタクシー 和合平線 (1人、下校は大沼線、冬期よりスクールタクシー)、 水本方面 (下校のみ、1月より登下校) ・山交バス (北部地区36人、冬期間登下校大隅1人、冬期間登校和合地区6人/下校は大沼線、1月より和合線) ・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。 ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品交換など修繕には万全を期している。 ・【予算と決算の差引額が多い理由】安全運行のため例年並みの予算を確保したが、修繕費等が想定より少なかったため

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	20,921,000	決算額	15,596,216	差引額	5,324,784
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> ○家庭、学校、教育委員会の連携のもと計画どおりの運行ができた。 ○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。 ○遠距離通学の対象生徒が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。 ○部活動での大会や練習試合等でもスクールバスを利用しており、送迎に係る保護者の負担軽減ができた。 ○学校等と協議し、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ下車場所を調整している。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。 ・会計年度任用職員の運転手に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。 ・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。 ・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。 ・少子化・防犯上の問題など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区が拡大しているが、利用する児童生徒が安全に登下校できるよう運行方針及び利用基準を検討していく。
--

事務事業点検・評価調書

12

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・委託関係 <ul style="list-style-type: none"> 西五百川小学校屋内運動場吊り天井改修工事実施設計・監理業務（設計）2,365,000円、（監理）1,485,000円 宮宿小学校受水槽・高架水槽更新工事実施設計監理業務（設計）1,067,000円、（監理）583,000円 空調設備保守業務 174,400円 タブレット端末スポット保守業務 49,280円（保証対象外の故障1台） ・工事関係 <ul style="list-style-type: none"> 西五百川小学校屋内運動場吊り天井改修工事 28,050,000円 宮宿小学校受水槽・高架水槽更新工事 12,243,000円 手洗い場自動水栓化改修工事 3,280,550円 トイレ機能強化改修工事（職員用全て、各小学校生徒用2基ずつ）8,440,000円 （うち3,300,000円は前金払済み、残額5,140,000円分はR4年度事業として繰越） 他、宮小調理休憩室エアコン設置、宮小職員室電話設備修繕、西小体育館オペレーター装置修繕 ・備品購入 <ul style="list-style-type: none"> 食器洗浄機（西五百川小）4,400,000円 他、プリンター、職員用イスなど ・その他、各小学校へ小規模修繕の予算配当
--

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	73,695,000	決算額	61,669,702	差引額	12,025,298 内繰越明許5,140,000
-----	------------	-----	------------	-----	------------------------------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。 △西五百川小学校校舎（S54）、宮宿小学校校舎（S55）は建築年が古く、老朽化が進み改修が必要であり、長寿命化改修には多額の経費が見込まれる。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・安全を確保し、安心して快適な施設となるよう必要に応じ改修等の整備を行っていく。 ・平成29年に実施した劣化調査を基に老朽化している施設・設備を緊急性の高いものから計画的に整備し町の実施計画（3年間）に計上し、関係部局との連携を図りながら確実に実施できるよう取り組んでいく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・委託関係 <ul style="list-style-type: none"> グラウンド簡易トイレ維持管理 179,300 円 空調設備保守業務 50,000 円 タブレット端末スポット保守業務（保証対象外の故障 0 台） ・工事関係 <ul style="list-style-type: none"> 第2理科室・美術室床張替工事 1,496,000 円 教室改修工事 3,850,000 円 手洗い場自動水栓化改修工事 1,999,450 円 トイレ機能強化改修工事（職員用全て、生徒用3基）2,780,000 円 （うち1,100,000 円は前金払済み、残額1,680,000 円分はR4 年度事業として繰越） ・備品購入 <ul style="list-style-type: none"> 電磁気発生装置（普通棟系統） 5,236,000 円 他、職員用イスなど ・その他、中学校へ小規模修繕の予算配当 <p>【予算と決算の差引額が多い理由】 修繕費や工事請負費等が想定よりかからなかったため</p>
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	20,455,000	決算額	16,276,334	差引額	4,178,666 内繰越明許 1,680,000
-----	------------	-----	------------	-----	------------------------------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。</p> <p>△校舎、体育館は平成 22 年度に耐震工事が終了し、併せて内壁、外壁等主要な部分も大規模改修を行ったが、建築年が昭和 51 年と古く設備面を中心に老朽化が進み改修が必要であり、長寿命化改修には多額の経費が見込まれる。</p> <p>△屋外部活の部室が目の届かないところにあり、老朽化もしていることから改築する必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・安全を確保し、安心して快適な施設となるよう必要に応じ改修等の整備を行っていく。 ・平成 29 年に実施した劣化調査を基に老朽化している施設・設備を緊急性の高いものから計画的に整備していく。 ・社会開放用のトイレ設置と、屋外部室の改築については町の実施計画（3 年間）に計上し整備を検討していく。 <p>なお、屋外部室の管理については、改築されるまでの間、教職員による定期的な見回り等を実施し安全を確保する。</p>
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、児童の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい等により、支援を要する児童に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3、児童数219人【19クラス（内特別支援5クラス）】 ・学力向上・特色ある学校づくり事業を各校の生徒に身につけたい力を事業内容とした実施に対し、各校 280,000円を上限に補助 （西小280,000円、宮小279,998円、大谷小270,900円） ・小体連陸上（5/19） ・海の子山の子交流事業（7/17、10/16） ・芸術鑑賞事業補助307,919円 ・準要保護対象者8人、特別支援教育就学奨励該当者7人 ・学習生活指導員（西小2人・宮小3人・大谷小4人）、読書活動推進員（1人） ・宗生文庫基金による図書購入548,427円、年度末基金残高13,571,576円 <p>【予算と決算の差引額が多い理由】 会計年度任用職員について、人数が多く雇用形態の違いもあることから余裕をもって予算を確保したが想定より経費が少なかった。また備品購入費についても想定よりもかからなかったため。</p>
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	30,084,000	決算額	22,898,070	差引額	7,185,930 内繰越明許2,700,000
-----	------------	-----	------------	-----	-----------------------------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○各校とも学力向上・特色ある学校づくり事業において工夫して実践を行った。特に総合的な学習において、地域の「ひと・もの・こと」等、身近な素材を活用して学習し、朝日町のよさを発信するなどの表現力が高まっている。</p> <p>○学習生活指導員の配置により、複式学級・特別支援学級も含めきめ細かな学習指導を行うことができ、また教職員の負担軽減にもつながっている。</p> <p>○読書活動の推進を図るため、全小学校で図書のデータ管理を行っている。</p> <p>○読書活動推進員は各小学校を巡回しながら、図書室の環境整備や図書の紹介、図書を活用した授業への支援を行った。その結果、図書室の利用及び図書の貸し出しが増えるなど読書の推進が図られた。</p> <p>○電子黒板や大型モニターテレビ等の活用により、画像や動画等を提示しながらわかりやすい授業が行われている。</p> <p>○ICT学習の向上を図るためICT支援員の派遣を試行的に実施し、次年度からのスムーズな導入に役立った。</p> <p>△特別な支援が必要な子どもへの対応を行う際には、より丁寧に保護者の理解や協力を得ていく必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学力向上と地域の方々との関わりを通して特色ある学校づくり事業を継続していく。 ・少子化による複式学級の設置状況や教職員の負担軽減を踏まえ、引き続き学習生活指導員を配置し、教職員との打ち合わせを行いながらきめ細かな学習指導を進めていく。 ・一人ひとりの実態に応じたきめ細かな学習指導を進めるため、特に低学年への対応を重視していく。 ・障がいのある特別な支援が必要な児童の保護者に対し、子どもの将来を見据えた指導等の方向性について、理解と協力を得るために努力していく。さらには保護者、学校、行政が連携を密にし、対応にずれが生じないように配慮していく。 ・ICT支援員等について今後も継続して配置し、ICT学習の向上と教員の負担軽減を図っていく。 ・不登校の児童が孤立せず、自分の特性を生かしながら社会とのつながりを感じることができるようするために、居場所づくり及び教育相談員等のよりよい配置について検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、生徒の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい等により、支援を要する生徒に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・朝日中学校 生徒数 159 人【9 クラス(内特別支援 3 クラス)】 ・学力向上・特色ある学校づくり事業を生徒に身につけたい力を事業内容とした実施に対し、上限額の 660,000 円を補助 ・教材備品及び一般備品の購入 335,929 円 ・県大会、東北大会、全国大会派遣 547,000 円 ・部活動補助 600,000 円 ・準要保護対象者 17 人 ・特別支援学級奨励対象者 5 人 ・学習生活指導員 2 人、読書活動推進員 1 人を配置 ・スクールカウンセラー 2 人配置 <p>【予算と決算の差引額が多い理由】 学習支援ソフト使用料や上部大会派遣補助、扶助費等について想定よりかからなかったため</p>
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	18,019,000	決算額	13,959,789	差引額	4,059,211 内明許繰越額 900,000
-----	------------	-----	------------	-----	-----------------------------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学力向上・特色ある学校づくり事業において工夫して実践を行った。特に総合的な学習において、地域の「ひと・もの・こと」等、身近な素材を活用して学習し、朝日町のよさを発信するなどの表現力が高まっている。また、地域の産業や伝統文化を学ぶことにより、これからの自分の生き方を考えるキャリア教育の推進にもつながっている。</p> <p>○学習生活指導員の配置により、きめ細かな学習指導を行うことができた。</p> <p>○読書活動推進員は、図書室の環境整備や図書の紹介、図書を活用した授業への支援を行った。その結果、図書室の利用及び図書の貸し出しが増えるなど読書の推進が図られた。</p> <p>○電子黒板や大型モニターテレビ等の活用により、画像や動画等を提示しながらわかりやすい授業が行われている。</p> <p>○ICT 学習の向上を図るため ICT 支援員の派遣を試行的に実施し、次年度からのスムーズな導入に役立った。</p> <p>△不登校の生徒や保健室登校・別室登校の生徒が学級に戻れるように支援していく。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学力向上と地域の方々との関わりを通して特色ある学校づくり事業を継続していく。 ・引き続き学習生活指導員を配置していく。 ・一人ひとりの状況に応じた学習指導が求められており、保護者の理解と協力を得ながら対応していく。 ・不登校の児童生徒に対して県のスクールカウンセラー事業を活用して支援し、スムーズな無理のない形での学校生活への復帰を促していく。 ・ICT 支援員等については今後も継続して配置し、ICT 学習の向上と教員の負担軽減を図っていく。 ・不登校の児童が孤立せず、自分のこれからの生き方を思い描き、社会とのつながりを感じることができるようするために、居場所づくり及び教育相談員等のよりよい配置について検討していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

事務事業名	外国語活動推進事業費
-------	------------

所管課・係 教育文化課学校教育係

2. 事業の目的

事業の目的	小学校における国際理解と英語力の向上を図る。 中学校における英語教育（コミュニケーション能力）を充実する。
-------	--

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

3. 事業の実施状況

- 令和2年度から小学校学習指導要領の改訂により、小学校3・4年生で外国語活動、5・6年で外国語が必修となった。令和元年度から、町単独のALTにJET事業のALTを加え2人体制にした。
- 現ALTはアメリカの異文化体験活動を企画実施し、国際交流の進展にも寄与している。平成28年度から実施している中学生の海外派遣事業についても中心となって事業を行っている。

【実施事業】

- 国際交流イベント 7/3 (小学生18人参加)
- ハロウィン 【コロナ禍のため中止】
- 中学生海外派遣事業 9/24～9/27 朝日中3年生8人 代替 福島県ブリティッシュヒルズ
【コロナ禍のため米国への海外派遣は中止】
アイジー基金を活用した事業 事業費1,119,480円
- あさひ国際交流推進フォーラム 11/6 海外派遣事業の報告
意見交流「令和3年度中学生海外派遣事業の報告とソフィー先生の紹介」

【予算と決算の差引額が多い理由】

会計年度任用職員の経費について、コロナ禍により任用日が遅れ想定より少なくなったため

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	13,331,000	決算額	11,531,804	差引額	1,799,196
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

- 従前からのALTは来日以来18年間の実績を活用し、学校と連携しながら適切な指導ができています。JET派遣のALTと2人体制を取ることで、学校での滞在時間が長く、英語を聞いたり話したりすることが日常化している。
- ハロウィンは子どもたちに人気があり日本の風土にもなじんでいる。令和2・3年度はコロナ禍のため中止としたが、今後も継続していきたい。
- 国際交流イベントでは新しい生活様式に基づき、ゲームや食事のスタイルを工夫することができた。派遣生が中心となって計画・運営をすることにより、企画・調整力やコミュニケーション力等の育成も図ることができた。
- 中学生海外派遣事業が6回目となり、報告会としてあさひ国際交流推進フォーラムを開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をし規模を縮小して開催したが好評であった。
- 保小中連携一貫教育の推進として、令和元年度に作成した保小中12年間を見通した「英語活動CAN-DOリスト」を活用して英語教育の充実を図っている。あさひ保育園や小学校低学年での英語あそびにより、英語への抵抗感を緩和している。
- 中学生海外派遣事業は福島県ブリティッシュヒルズでの研修になったが、異文化理解と英語によるコミュニケーション能力の育成という目的を達成することができた。
- △中学生海外派遣事業報告会はコロナ禍により人数を制限したため、多くの方から聞いていただくことができなかった。

6. 事業の方向性

- ・CAN-DOリストに基づき、英語育成を図る。学習成果の検証を図りながら保育園や小学校低学年から英語に慣れ親しみ、抵抗感なく外国語活動へつながるように改善を行っていく。
- ・国際交流事業を通して、小・中学生が外国への関心を高めており、今後とも国際交流事業を継続していく。
- ・町の学校教育の魅力の一つとして、ALT2人体制を継続し、外国語活動や外国語授業の質を向上させていく。
- ・中学生海外派遣事業報告会は、コロナ禍でも多くの人に聞いていただけるよう工夫し周知をしていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・経費は、光熱水費、調理師代行、検査委託費等 ・自校炊飯を全校で実施 年間 180 日～190 日 ・給食の食材は保護者負担 1 食 280 円 ・週 4 回米飯、1 回パンまたは麺類 ・献立作成会議を年 10 回開催 ・町独自の調理師資質向上研修会 2 回開催(調理師全員参加) ・地産地消を目指し毎月 19 日をふるさと給食の日と定め地元の野菜や果物、農産加工品を提供 ・食物アレルギー対策として、個別に自校給食により対応した給食を提供(除去・代替えによる対応)
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,490,000	決算額	9,549,902	差引額	940,098
-----	------------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○1 件の事故もなく、バランスのとれた給食を提供することができた。</p> <p>△集中改革プラン(H17～21)で、給食の民間委託の検討を行うことが示されたが、その後の行革実現プランには「給食民間委託」は明文化なし。ただし、町全体として「民間委託の推進」は掲げているので、十分な協議が必要である。</p> <p>○食物アレルギーの児童生徒にも対応した給食を提供している。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託の導入についても検討するが、当面は直営での給食を行っていく。 ・食物アレルギー対策として、これまでの就学時健診時におけるアンケート調査に加え、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を共通認識を持ち安全に提供するため給食に反映させる。 ・調理室の現状について確認していくことで、施設老朽化による不都合が生じないようにする。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・副食給食を委託 12,100,000円 (R3はJAと契約。調理場所はりんご温泉内調理室) ・給食の食材は保護者負担 食材1食210円 ・食物アレルギー対策としては、除去による個別に対応した給食を提供 ・中学校給食センター整備 (りんご温泉) <ul style="list-style-type: none"> 食器洗浄機等購入 (食洗機、食缶) 4,367,000円 調理室備品購入 (スチームコンベクションオーブン、調理台) 3,344,000円 保冷車両購入 1,727,000円 <p>【予算と決算の差引額が多い理由】 備品購入費について想定よりかからなかったため</p>

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	24,525,000	決算額	21,633,649	差引額	2,891,351
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○バランスのとれた副食給食を提供することができた。</p> <p>△野菜の洗浄不足等による異物混入の事故が2件あった。中学校で迅速な生徒への対応や保護者への説明を行い生徒の健康被害及び保護者からの苦情はなかった。委託業者より報告を受け再発防止、業務改善の指導をした。</p> <p>○食物アレルギーの児童生徒にも対応した給食を提供している。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の提供にあたり、給食センター方式や自校給食又は業務委託があるが、当面は業務委託による副食給食方式を継続し、委託先の状況に応じて他の方式にも切り替えられるよう今後を見据えて対応していく。 ・食物アレルギー対策として、事前に小学校からのデータを引き継ぐことを基本とし、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を共通認識を持ち安全に提供するための給食に反映させる。 ・調理室の現状について確認していくことで、施設老朽化による不都合が生じないようにする。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	社会教育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る。
-------	-------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員 7人 (男6人、女1人) ・社会教育委員会の開催 (6/10、3/22) ・社会教育委員会で協議した内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 朝日町社会教育の課題 <ul style="list-style-type: none"> ① 女性の社会参画の在り方 ② 子ども・若者の地域活動参画の在り方 ③ 社会教育関係団体の高齢化、担い手の偏り ④ 文化財の保護と活用 ⑤ 社会教育、社会体育施設の老朽化 (2) 課題に対応するための重点取り組み <ul style="list-style-type: none"> ① 人材育成事業の推進 ② 地域社会による子育て、社会教育の推進 ③ 読書・芸術文化活動の推進 ④ 文化財保護・保存と活用 ⑤ スポーツを通じた地域づくり・健康づくり ・山形県社会教育研究大会 10/14 3人参加 (Zoomによるオンライン形式) ・村山地区社会教育推進協議会研修会 9/29 5人参加 (Zoomによるオンライン形式) ・社会教育機関負担金 (県社教連、県社教大会、山響) ・社会教育団体活動補助金(子ども会育成連絡協議会 199,000円) ・会計年度任用職員賃金、共済費 (創遊館業務員)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,218,000	決算額	3,123,160	差引額	94,840
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育委員会は計画に沿って開催することができた。 ○社会教育委員会は、事業計画及び実施状況について、適正に助言している。時代の変化に合わせて社会教育の課題が変化してきており、対応が難しくなっている中、人口減少の中での社会教育の役割や目的などテーマを決めて意見交換を行うことができた。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員は、教育委員会に対する助言、意見を述べるなどの職務のために、先進的、優良事例の調査研究等を行い、社会教育委員会の活動の活発化を促し、当町社会教育に反映させる。 ・社会教育委員会の中で、県等が実施する研修会への参加やテーマを決めた意見交換を行い、社会教育委員としての資質の向上に努める。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化財保護費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の文化財を掘り起こし、地域の宝として、守り伝える態勢を整え活用を図る。
-------	--------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護委員 5人(5人以内) ・文化財保護委員会 (8/4、2/9) ・文化財保護委員視察研修 (10/28) 中山町：旧柏倉家住宅、寒河江市：慈恩寺テラス、朝日町：農協西五百川支所 ・指定文化財保護事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> 佐竹家住宅管理費補助 304,000円(差し茅) 水口十一面観音堂管理費補助 64,000円(雪下ろし雪囲い) 大沼の浮島整備補助【国庫補助】 1,935,000円(芭蕉塚鞘堂改修・転落防止柵設置・引水工事測量設計) 大沼の浮島整備補助【町単独補助】 462,000円(枯損木伐採及び枯れ枝伐採) 角田流獅子踊(大谷・八ツ沼) 伝承補助 100,000円 浮島稲荷神社管理費補助 73,000円(雪下ろし) ・旧三中分校施設管理委託(八ツ沼区) 203,000円(草刈・雪下ろし等) ・文化財等保護調査(ハッチョウトンボ) ・町指定有形文化財への登録に係る事前調査(農協西五百川支所耐震診断用コンクリートコア調査 330,000円)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,736,000	決算額	3,579,907	差引額	156,093
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○町指定文化財については、所有者等と協議しながら保存整備を行うことができた。</p> <p>○大沼の浮島については、これまでの調査・計画を基に、令和3年度は測量・設計を行い、令和4～5年度にかけて道円沢から引水するための配管工事を実施する予定である。</p> <p>○農協西五百川支所の閉所・解体計画に伴い、文化的価値の高い当該建造物の保存に向けて躯体の強度を調査したところ、脆弱化しており保存及び活用が難しい建造物であることがわかった。</p> <p>△文化財マップや準文化財を登録する「朝日町ふるさと文化財制度」などを活用しながら、地域の宝を守り伝えていく心を醸成していく必要がある。</p> <p>△区や個人で所有している文化財(特に建造物、個人所有)については、経済的にも高齢化による体力的にも大きな負担となっており、将来的に維持・保存が難しくなることも想定される。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・大沼浮島保存整備委員会において、計画実施の経過観察及び評価を行い、適宜見直しながら保存・活用整備を適切に進めていく。また、令和7年度に名勝指定100周年を迎えるので、委員会内で記念式典などイベント開催の可否について検討が必要となってくる。 ・農協西五百川支所などのように現物の保存が難しいものは、写真やデータなどで文化的価値の保存を図っていく。 ・「朝日町ふるさと文化財制度」について、区長会や公民館連絡協議会、各学校等で周知を図り、地域住民らが協力して地域の宝を守り伝えていく心を醸成する。 ・文化財が将来的にも良好な状態で引き継がれていくために、今後も所有者との維持管理に関する話し合いを重ねていく。更に、町の支援の拡充を検討するとともに、国、県に対して引き続き支援の拡充を求めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	町史編さん費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の歴史を正しく理解し、後世に伝える。
-------	---------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町史編さん専門員2人を配置 ・町史及び町史資料頒布 ・文化財保護、民具の利活用等 倉遊館ギャラリーにて実施 ①「稲作で使用した民具」7/3～7/25 ②「冬季に使用した民具」2/10～2/27 ・朝日町郷土史研究会 ・ふるさと歴史教室「古文書講座」～古文書から見る暮らし～ 10/6～11/17 計6回 (受講者7人/延べ41人)
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,386,000	決算額	2,337,358	差引額	48,642
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○町史関係資料を収集・解読し、朝日町史編集資料第36号発行に向けた活動ができた。</p> <p>○古文書、歴史資料をまとめた町史や町史編集資料の頒布や古文書講座の開催は、広く町民に伝えることにつながっている。</p> <p>△町内の民俗文化財に対する調査が遅れており、伝承できる人や貴重な資料が減少する前に調査する必要がある。</p> <p>△町史編さん専門員は、深い専門性と幅広い知識により町史編さん事業を担っているが、今後も継続的に調査・研究を行うために、後進の育成や引継ぎ等を視野に入れた新たな人材の発掘・雇用を検討する必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、古文書、歴史資料をまとめ町史編集資料の作成業務を行う。 ・古文書講座は、様々な対象者を想定し開催時期や時間など工夫しながら実施していく。 ・エコミュージアム協会と連携し、民俗文化財の調査体制を整備する。 ・朝日郷土史研究会や大学等と連携しながら、町史編さん専門員の後継者となる人材の発掘や育成に努めていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	青少年健全育成推進事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	家庭、学校、地域が一体となった町全体の共通目標を掲げ、町民全体による子育てを推進する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成町民会議（委員 23 人） 総会 5/18 青少年育成町民大会（あさひ教育の日との連携事業） オンライン会議システム（Zoom）を使用し各学校で講演会を開催 講師：小澤 治夫 氏「みんなであさひっ子の生活習慣を考えよう！～テレビ・ゲーム・スマホは控えめに～」 6/2 大谷小学校（全児童及び5.6年保護者） 6/5 宮宿小学校（4年生以上及び全保護者） 7/21 朝日中学校（全生徒及び全保護者） 10/8 西五百川小学校（全児童及び希望する保護者） 街頭指導（8/31、3月上旬【コロナ禍のため中止】） ※8/31 は風神祭の中止に伴い中止、3月は役員及び学校と県内のコロナ感染者の状況を踏まえて検討し、青少年育成町民会議会長が中止決定→委員及び学校へは通知により周知 青少年育成推進員活動（委員 6 人） 会議（4/27、6/17）、青少年事業への活動補助 「わくわく体験事業」長井市方面【三淵溪谷ボート探検、勾玉づくり体験】（8/7）8名参加（小1～4年生） 山形県青少年健全育成県民大会【オンライン開催】 10/31 不参加 村山地区青少年育成連絡協議会推進部会研修会 9/26 3名参加 ・あさひ教育の日推進委員会（委員 5 人） 会議（7/30、3/24） あさひ教育の日 10 周年記念講演会「人間関係をつくるコミュニケーション」講師：齋藤 孝 氏（11/7） 啓発活動（チラシ全戸配布、ポスター掲示、立て看板設置）

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	2,078,000	決算額	1,991,545	差引額	86,455
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○時代の変化により非行の減少や問題・課題内容の変化を受け、関連団体における活動内容の整理、統合や連携強化を図るため、「青少年指導センター」「青少年育成推進委員会」「青少年育成町民会議」を統合した体制での活動を開始し、効率かつこれまでよりも連携した活動が展開できた。 ○「あさひ教育の日」制定 10 周年を迎え、あさひ教育の日推進委員会の任務である制定及び初期の重点的な推進という役割を果たしたことから、今後は青少年の健全育成と一体的に推進していく体制を検討できた。 ○コロナ禍のため中止となった事業があったものの、コロナ禍でもできる事業としてオンライン講演会などを行い、途切れることなく青少年健全育成事業を行うことができた。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成を推進する機関が見守っていることの啓発活動として、登下校時の学校訪問等による街頭指導を継続して行っていくとともに、あさひ教育の日推進事業など学社連携により、町民一人ひとりが教育に対する関心と理解を深め、地域全体で子どもたちを観ていく機運を高めていく。 ・「あさひ教育の日」に係る今後の推進について、青少年育成町民会議による青少年の健全育成と一体的な推進を図っていく。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、可能な範囲で事業を実施できるよう努めていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	自治公民館整備事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る拠点施設である自治公民館の整備に助成する。
-------	---------------------------------

3. 事業の実施状況

・自治公民館整備事業費補助金	
① 四ノ沢公民館（新築）	20,000,000円（補助率70%）
② 大暮山公民館（屋根塗装、畳表替え）	205,000円（補助率50%）
③ 大谷第三公民館（はしご改修、屋根修繕）	334,000円（補助率50%）
④ 西船渡公民館（屋根塗装）	100,000円（補助率40%）
⑤ 水本公民館（屋根塗装）	52,000円（補助率40%）
⑥ 雪谷公民館（屋根塗装）	41,000円（補助率40%）
⑦ 栗木沢公民館（蛍光灯交換、トイレ改修）	119,000円（補助率30%）
⑧ 立木公民館（窓枠、手すり、柱塗装）	88,000円（補助率40%）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	20,939,000	決算額	20,939,000	差引額	0
-----	------------	-----	------------	-----	---

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○自治公民館整備事業補助金交付規程の見直しを行い（平成29年4月1日改正）、各公民館の整備に関する相談に応じて支援することができた。</p> <p>○事業規模（交付対象金額）による事前協議の期限と補助率等の不具合について、事業規模の捉え方を整理することにより解消することができた。</p> <p>△自然災害等による想定していない整備や改修が必要になった場合に、緊急的に対応していく必要がある。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・各地区からの要望をできるだけ早い段階で把握し、支援漏れのないよう制度の周知徹底を図っていく。 ・自治公民館建築事業補助金交付規程に基づき計画的な支援を行うため、より活用しやすく、地域の問題や課題を把握し、自然災害等の影響により緊急的に支援が必要になった場合なども含め、実情に合わせた運用ができるよう随時制度の見直しを検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

事務事業名	中央公民館事業費
-------	----------

所管課・係 教育文化課生涯学習係

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・中央兼中部公民館運営審議会 (6/15、3/19)
- ・家庭教育
 - 中央公民館事業…やまがた子育て講座 (6/2 大谷小51人、6/16 宮小20人、10/8 西小70人、7/21 朝日中300人)
 - あさひ家庭教育学級 (あさひ保育園 0回【コロナ禍のため中止 「家庭教育通信」発行 (R3.10～計3回)】)
- ・青少年教育
 - 中央公民館事業…成人式: 4/29 参加者37人 (対象60人)
 - ボランティア育成 (中学生…きらり14人、高校生…JOKER2人: 町内イベントの協力等)
 - 中部公民館事業…子ども会育成事業 (第29回綱引き大会 3/21 【コロナ禍のため中止】)
 - ※町の対策方針 (町有施設利用に係る留意事項・会食等の指針等) を踏まえ、中止の事務局案を
書面協議 (1/28) に諮り中止決定→2/9 通知により周知
 - 中部キッズクラブ (6/19 アイス作り 参加者10人)
- ・女性教育
 - 中央公民館事業…女性文化教室 11教室 (実申込者数100人、延べ申込者数123人)
 - 【コロナ禍のため健康料理教室、民謡・歌謡教室 (11/28～再開) 休止】
 - 代表者会2回 (4/15、12/14)
 - 女性まつり (第42回) 2/27 【コロナ禍のため中止】
- ・成人教育
 - 中央公民館事業…ふるさと歴史教室「古文書講座」【再掲】10/6～11/17 計6回 (受講者7人/延べ41人)
 - 第34回生涯学習推進大会 2/27 人数限定 (整理券160枚) 【コロナ禍のため急きょ中止】
 - ※町内の感染状況から、町の基本方針により、2/19から3/13まで町有施設の休館 (休業)、イベントの中止
→ 整理券配布者に対し、開催の有無を確認できる整理券掲載のQRコードでの確認を案内
(QRコードで確認できないときは、電話による開催直前の確認を依頼)
- ・自治公民館
 - 中央公民館事業…町自治公民館長・主事研修【コロナ禍のため中止】
 - ※会長と協議し、中止決定→6/25 通知により周知
 - 公民館報発行奨励金交付事業 16館、自治公民館研修会等共催支援事業1館
 - 中部公民館事業…自治公民館長・主事研修【コロナ禍のため中止】
 - ※町の対策方針 (町有施設利用に係る留意事項・会食等の指針等) を踏まえ、中部地区自治
公民館連絡協議会評議員会で協議→7/23の総会書面協議で中止決定→8/4 通知により周知
 - ※各公民館事業の実施や中止に関する相談については、国・県・町の方針や基準、対策等について情報提供を行った
- ・高齢者教育
 - 中央公民館事業…高齢者大学代表者会議【コロナ禍のため中止】
 - 中部公民館事業…寿大学【コロナ禍のため中止】
 - ※三役会 (5/7) において協議し、ワクチン接種が終わる8月を目途に再度三役会で検討。
→第2回三役会 (8/27) で中止決定→9/1 各運営委員に対して通知し、運営委員より各会員に
周知

【予算と決算の差引額が多い理由】

生涯学習推進大会の直前の中止及び女性文化教室を一部再開できなかったため

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,281,000	決算額	962,618	差引額	318,382
-----	-----------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

- 新型コロナウイルス感染症への対処方法が明確になるにつれ、やり方を工夫しながら対策を講じられる事業は実施できた。
- 「中止にして終わり」ではなく、新たな事業へ参画することで今後の活動アイデアを得ることができた。
- △世代ごとに新型コロナウイルス感染症への認識が違うため、ほぼ活動せずに終了している団体もあった。

6. 事業の方向性

- ・生涯学習の充実を図るため、幼少期から高齢期まで幅広く町民の学ぶ機会を提供するとともに、町民の声やニーズを生かした企画と事業への見直しを図っていく。
- ・子育て世代や、成人男性のニーズに応える学ぶ機会をつくる。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、可能な範囲で事業を実施できるよう努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会及び健康増進センター管理運営審議会 (6/17 会議、3/18 付書面開催) ・青少年教育…いもがわ少年教室 2回 55人 【2月に開催予定だった第3回はコロナ禍のため中止】 <ul style="list-style-type: none"> …子ども会交流事業 1回 48人 【冬季大会はコロナ禍のため中止】 …青年教室 0回 【コロナ禍のため中止】 ・女性教育…楽笑楽生こうざ 2回 24人 ・成人教育…陶芸教室 2回 12人 <ul style="list-style-type: none"> …筆ペン講座 1回 3人 …チャリティーグラウンドゴルフ大会 10/30 参加者 62人 …自治公民館長主事研修会 6/13 0人 【コロナ禍のため中止】(5/14付書面開催の総会で中止を決定、6/1発行の西部公民館だよりで関係者に周知) …第28回西部地区スポーツフェスティバル 8/29 0人 【コロナ禍のため中止】(5/14付書面開催の総会で中止を決定、6/1発行の西部公民館だよりで西部地区民に周知(ソフトボール、グラウンドゴルフ、インディアカ、ビーチバレーボール、輪投げ)) ・高齢者教育…高齢者教室(高砂大学) 0回 0人 延べ0人 【コロナ禍のため中止】(5/24運営委員長と協議し、コロナ禍が終息まで自粛決定(結果的に年間を通して中止)、5/25郵送で受講者に周知) ・第57回朝日町芸術文化祭展示発表会 11月 【コロナ禍のため中止】 ・「西部公民館だより」発行 4回(5/1、6/1、10/1、1/1) ・西部区長会や子ども会育成協議会など7団体の事務局担当 <p>【予算と決算の差引額が多い理由】 楽笑楽生こうざ(味噌づくり講座)を延期したことにより、中止等の不測の事態に備えて予算を確保していたため</p>
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	324,000	決算額	191,437	差引額	132,563
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○女性対象の楽笑楽生こうざは、長年継続している事業であり、参加者から好評を得ている。令和3年度はコロナ禍の中、味噌づくり講座を計画したものの、昨年度同様開催直前に町内で感染者が発生したので一度延期としたが、無事に開催できた。</p> <p>△コロナ禍の中であったが、上半期の事業は感染防止対策を実施したうえで開催可能な事業は可能な範囲で実施できた。下半期の事業については、新型コロナウイルス感染症の感染者が増加したため、中止や延期など開催に支障があった。</p> <p>△西部地区スポーツフェスティバルは、西部地区自治公民館連絡協議会が主催し、各地区から大勢が参加する事業であり、西部地区の住民がスポーツとレクリエーションをとおして、地域の活性化と相互の親睦を深める機会となっているが、コロナ禍のため2年連続で中止となった。</p> <p>△高齢者教室(高砂大学)は参加者から好評を得ているが、コロナ禍のため中止となった。</p> <p>△町民ニーズに応える事業を実施しようとするが、町民の関心が多岐にわたり、応えることが難しい。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知方法・回数等を見直し、新規参加者を増やす。 ・町民ニーズの把握に努め、事業内容や開催方法の見直しを行う。 ・地区最大のイベント、スポーツフェスティバルは、各自治公民館と他の地区との交流を促進する機会となっており、継続開催していく。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、可能な範囲で事業を実施できるよう努めていく。
--

1. 事務事業名

事務事業名	北部公民館事業費
-------	----------

所管課・係		教育文化課北部公民館	
予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会 (5/21 会議、3/14 付書面開催) ・青少年教育…ドキドキ探検隊 隊員9人 達人倶楽部20人 延べ隊員34人、延べ達人倶楽部39人参加 (流しそうめん、ハイキング、中華めん打ち等5回) 【夏キャンプ、冬キャンプはコロナ禍のため中止】 …子ども会育成協議会事業7/11「交通安全教室」実施、「第2回事業」はコロナ禍のため中止(5/14開催の総会で実施判断を会長及び事務局一任と決定、第2回事業は1/20に中止を決定、1/21郵送で地区代表育成委員に周知) ・高齢者教育…睦大学【コロナ禍のため中止】(8/26に中止を決定、8/30郵送で運営委員に周知) ・成人教育…自治公民館連絡協議会 館長主事等研修会【コロナ禍のため中止】(5/12開催の役員会で中止を決定) …第16回北部地区レクリエーション大会【コロナ禍のため中止】(6/9開催の総会で中止を決定) …そば打ち教室【コロナ禍のため中止】 …肩こり・腰痛改善体操 3回 12人 延べ22人 …毛糸玉で可愛いクリスマスリースをつくってみよう 1回 4人 ・女性教室…蜜ろうでハンドクリームをつくってみよう 1回 14人 ・第57回朝日町芸術文化祭 秋葉山交遊館展示発表【コロナ禍のため中止】 ・秋葉山交遊館ロビー開放(冬季)…1/13(木)～3/18(木)の火曜日と木曜日 計11日間 12人 (※常にロビーは開放しているが、この期間は暖房をつけて開放) ・その他、共催事業等…ひまわりサロン(高齢者等の交流居場所づくり)活動支援【コロナ禍のため中止】 …交遊たのしい子ども教室(生け花体験等)共催 …秋葉山さくら回廊等整備作業(6/13、7/4)、秋葉山整備活用計画の意見交換(10月北部地区区長会にて実施) (農林振興課にて、秋葉山の倒木処理、下刈りを実施) ・「北部公民館だより」発行 2回(4/16、12/28) ・北部地区区長会や子ども会育成協議会など5団体の関係団体事務局担当
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	191,000	決算額	136,248	差引額	54,752
-----	---------	-----	---------	-----	--------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○青少年事業の「ドキドキ探検隊」は、野外活動を多く取り入れ、日頃できない体験が出来て参加者や保護者、大谷小学校より好評を得ている。また、地域の大人達が組織する「ドキドキ探検隊達人倶楽部」が企画、運営を担っており、世代間交流や地域の子どもの地域で育てる取組となっている。コロナ禍のため、やむを得ず中止となった活動もあったが、感染防止対策をとりながら実施した。</p> <p>△高齢者の事業として「睦大学」を行っているが、コロナ禍のため中止となった。</p> <p>△北部地区レクリエーション大会は北部地区自治公民館連絡協議会が主催し、北部地区民が一堂に集い、レクリエーションを通じて健康な身体の維持促進を図り、笑顔が絶えない活力ある地域づくりを目指す機会となっているが、コロナ禍のため中止となった。</p> <p>△成人教育として性別を問わず幅広い年代から参加者が集まる事業の検討が課題である。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の内容を見直ししながら、さらに青年層及び世代間交流の事業を充実し、参加者数の増加と、各年代の学びの機会提供、地域の活性化につなげていく。 ・北部地区レクリエーション大会は、各自治公民館と他の地区との交流の場となっており、継続していく。 ・成年層の事業を各種行いながら、60代の学びと社会参加の場の確保にもつなげていく。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、可能な範囲で事業を実施できるよう努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	創遊館管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	07	創遊館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・朝日町エコミュージアムコアセンター創遊館（平成12年5月完成） ・管理、各種設備、機器等の委託 夜間休日管理、清掃業務、エレベーター点検、空調設備、ピアノ保守管理、ホール管理、自動ドア、警備保障、舞台装置、特殊建築物定期報告、環境衛生・貯水槽清掃 ・修繕、工事 経常的な施設・設備・機械器具等の軽微な修繕 737,847 円 建築改修工事実施設計業務 12,430,000 円 給水ポンプユニット更新工事 4,488,000 円 ・芝生広場の芝刈りや除草等維持管理（随時） ・創遊館の貸出 R3年度 利用件数1,777件 利用人数15,378人（町民1人当たりの利用回数2.37回）（6,296人） R2年度 利用件数1,051件 利用人数9,594人（町民1人当たりの利用回数1.48回）（6,476人） R1年度 利用件数1,309件 利用人数20,421人（町民1人当たりの利用回数3.06回）（6,662人） ※町民1人当たりの利用回数＝利用人数／年度末日現在の人口（他も同様）
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	41,334,000	決算額	40,014,871	差引額	1,319,129
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○経年劣化により創遊館施設の各所に故障や傷みが出てきているため、特に著しい劣化が見られるものや緊急性の高いものから改修している。 ○中長期修繕計画に基づき、空調設備及び電気設備の改修を終え、残る建築改修工事に向けて設計することができた。

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に劣化診断結果をもとに策定した中長期修繕計画に沿って、今後も計画的な施設修繕を行っていく。 ・完成から約20年が経過した創遊館の大規模改修は、令和3年度に設計した建築改修工事（令和4年度施工予定）の完了をもって一旦終了となるが、さらに約20年後の大規模改修に向けた中長期修繕計画の見直しを検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・西部公民館（平成4年2月完成）、健康増進センター（昭和60年8月完成）、西部地区総合運動場（グラウンド：昭和62年3月完成）、熊ノ山農村公園（見晴らしの丘：平成15年3月完成）の4施設の管理 ・屋内施設：随時の清掃、維持 ・屋外施設：芝刈りや除草等維持管理。雪囲いや芝刈り、草刈りなどを、シルバー人材センターに委託している。熊ノ山農村公園の芝生は、グラウンドゴルフを楽しむ地元愛好会の皆さんから草取り作業など奉仕活動いただいている。また、コースの設定管理についても協力して頂いている。 ・年間利用者：R3年度 西部公民館 676人、健康増進センター 1,182人、西部地区総合運動場 448人、熊ノ山農村公園 3,438人、計 5,744人（町民1人当たりの利用回数0.91回）（6,296人） R2年度 西部公民館 424人、健康増進センター 2,016人、西部地区総合運動場 815人、熊ノ山農村公園 3,963人、計 7,218人（町民1人当たりの利用回数1.1回）（6,476人） R1年度 西部公民館 1,709人、健康増進センター 3,982人、西部地区総合運動場 924人、熊ノ山農村公園 5,371人、計11,986人（町民1人当たりの利用回数1.80回）（6,662人） ・西部公民館駐車場舗装補修工事 4,276,800円 ・西部公民館駐車場区画線設置工事 297,000円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	8,235,000	決算額	7,949,914	差引額	285,086
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○地区民や関係団体の自発的な奉仕活動による維持管理の協力を頂きながら、適切な管理業務を行った。 △施設の老朽化とともに、不具合が生じている。また、予定外の修繕も発生するため、対応に苦慮している。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・西部公民館と健康増進センターについては、令和3年3月に策定した公共施設個別施設計画に基づき、計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図る。その他の施設については、施設の老朽化に伴い、緊急性のあるものから計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図る。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・秋葉山交遊館、芝生広場（平成7年7月完成）、北部体育館（昭和54年3月完成）、大谷地区運動広場（昭和62年完成） ・屋内施設：随時の清掃、維持、夜間警備委託（328,760円） ・屋外施設：芝刈りや除草、樹木剪定、枝打等維持管理 一部、シルバー人材センター等に委託（206,945円）。 ・年間利用者：R3年度 秋葉山交遊館 2,722人、ときめき体験館 62人、多目的広場 1,338人、北部体育館 838人、秋葉山グラウンド 2,941人、計 7,901人 （町民1人当たりの利用回数1.25回）（6,296人） R2年度 秋葉山交遊館 1,375人、ときめき体験館 55人、多目的広場 566人、北部体育館 1,163人、秋葉山グラウンド 599人、計 3,758人 （町民1人当たりの利用回数0.58回）（6,476人） R1年度 秋葉山交遊館 6,066人、ときめき体験館 88人、多目的広場 3,534人、北部体育館 1,902人、秋葉山グラウンド 1,360人、計 12,950人 （町民1人当たりの利用回数1.94回）（6,662人） ・秋葉山交遊館 遊具更新工事 19,570,100円 ・秋葉山交遊館 屋外トイレ洋式化改修工事 759,000円 ・秋葉山交遊館 ハンドロータリー除雪機購入事業 708,400円
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	25,685,000	決算額	24,595,332	差引額	1,089,668
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○施設の維持管理の協力として、地区民から自発的に奉仕作業をいただいている。 ○木製遊具やテニスコート、屋外バスケットコートなど、幼児、子ども達が利用している。 ○多目的広場では、地区民のグラウンドゴルフ利用が多く、各区大会や日常の練習等で利用されている。 △秋葉山交遊館は施設完成から26年が過ぎ、老朽化が進んでおり、修繕の必要な箇所が増えてきている。

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・北部公民館、ときめき体験館、北部体育館については、令和3年3月に策定した公共施設個別施設計画に基づき、計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図る。その他の施設についても随時、施設点検を行うとともに、施設の老朽化や修繕必要箇所について、緊急性の高いものから計画的に修繕して、安全で安心して利用しやすい施設を維持していく。

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	放課後子どもプラン事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

- ・放課後子ども教室推進事業の実施
コーディネーター2人配置

	サポーター数	開設数		延べ利用者数
		平日	土日	
きらきらスクール (宮小)	16人	55日	1日	183人
のびのびスクール (西小)	15人	113日	2日	4,326人
どきどきスクール (大谷小)	14人	134日	6日	722人

- ・きらきらスクール (宮小)
※コロナ対策のため2、3月末実施 (全児童が速やかに下校するよう指導)
- ・のびのびスクール (西小)
※少子化・防犯上の観点から、一斉下校を実施しており、原則的に全児童が利用
- ・どきどきスクール (大谷小)
※少子化・防犯上の観点から、徒歩通学距離が長く、少人数地区の低学年は、高学年とともに下校するため、高学年を待つ必要がある児童は原則的に利用

【予算と決算の差引額が多い理由】

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、3学期の開催日数が減少したため

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,219,000	決算額	904,626	差引額	314,374
-----	-----------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

○町内各小学校で年間を通して開設。学校との連絡調整を密にした運営体制が構築されており、サポーターによる放課後の安全な居場所が確保できている。
△サポーター数が減少している中、放課後子ども教室の需要 (開設回数) が増えている小学校では、一人当たりの負担が増えている。

6. 事業の方向性

- ・サポーターの確保に向けて募集案内等を強化するとともに、サポーター同士のつながりを強化していく。
- ・各校へのコーディネーターの配置とサポーターの増員により、負担感が少ない運営体制を目指していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	つながりで育てる人材育成事業
-------	----------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	自主的に活動する人材・団体を育成し、行政とともに地域づくり、まちづくりを推進し町民生活に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<p>「New アクション事業」の実施 応募団体2団体</p> <p>【チャレンジ創造資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・末吉良ボーイズ 代表 齋藤 隆氏 (13人) 2年度目 補助金 400,000円 子どもの遊び場作りを通じて、若者たちの交流の場を創出する(外遊びイベント、拠点整備 など) ・のぼり花火大会実行委員会 代表 登坂 尚高氏 (10人) 初年度 補助金 377,000円 花火大会を通じて、コロナ禍の中、町民に活力を与えたい(花火大会【オンライン配信】) <p>「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」への募集 参加者なし ※オンライン講義と短縮した宿泊学習でのカリキュラムに変更</p>

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	800,000	決算額	777,000	差引額	23,000
-----	---------	-----	---------	-----	--------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○町や地域の活性化や課題を考え、様々な視点からの活動を行い、町づくりに寄与する事業となった。</p> <p>○本事業は、3年まで継続事業についての支援としており、3年間支援を受けたグループが自立した活動へつながるような支援を検討し、条件を付け加えてさらなる継続を可能とした。今後も支援団体の状況を見ながら、人材育成という本来の目的を重視するとともに、一步踏み出すきっかけづくりとなる事業として実施していく必要がある。</p> <p>○新規1件の相談をうけ、団体の設立(立上げ)や実際の取組みにつなげることができた。また、活動内容を紹介する動画を作成、提供してもらい事業の周知とともに新規団体の確保に向けたPRにつなげられた。</p> <p>△「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」は、周知したが参加希望者なし。毎年の参加希望は難しい状況であり、今後、参加に対する支援体制を検討していく必要がある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・New アクション事業を通して、新たな取り組みにチャレンジしようとする町民が、実際の活動につながられるよう支援していく。 ・事業の周知を図るため周知方法を工夫し、動画等を活用した呼びかけや効果的なPRを継続して行うとともに、活動の様子などを定期的に発信できる仕組みを検討していく。 ・今後も若い世代の人材育成を図るため、「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」だけでなく、高校生を対象とした事業に派遣するとともに、その活動結果を広く中学生や高校生に伝えられる場づくりを検討する。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	図書館費
-------	------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	05	図書館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が学習や生活に役立つ情報や知識を得ることができ、楽しい生活の場とするため図書館運営を行なう。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町立図書館管理運営 会計年度任用職員4人配置 ・利用登録者 4,560人、うち町外600人 (R2 登録者4,480人 うち町外579人) ・1日平均貸出 約48冊 (R2 44冊)、1日平均利用者数 約15人 (R2 11人) ・図書資料収集・蔵書数 44,626冊/R3末 (43,913冊/R2末) ・蔵書点検 11/15～20 ・移動図書事業 5月～3月 (8月は除く) 大谷小 18回 (月2回/2月のみ1回) ・団体貸出 2団体 りんごっこクラブ (年9回・450冊)、あさひ保育園 (年6回・120冊) ・ブックスタート事業 (年6回) 絵本のプレゼント、絵本の読み聞かせ ・おはなし会事業 5月～3月 (毎月第2土曜、12月・1月除く) 【2回中止】(2月・3月) ※おはなし会「ぶなの実」と共催 ・12/11 (土) クリスマス子どものつどい 参加者78名 (大人34名、子ども44名) 12/11 (土)～28 (火) 古本プレゼント プレゼント人数119名 (町内114名、町外5名) 冊数336冊 12/4 (土) 夜の図書館「Reborn 再生～時の癒しと大いなる愛～」(1回目19名・2回目19名 計38名) ・ブックテーマコーナー開設 (毎月) 月毎にテーマを設定し本の紹介 ・子育て支援コーナー設置 (図書冊数200冊、貸出冊数260冊)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	7,589,000	決算額	7,407,312	差引額	181,688
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、令和2年度は実施できなかったおはなし会や図書館まつりなどの行事を開催し、多くの方に本に親しんでもらうことができた。</p> <p>○幼児期から本に親しんでもらうため、ブックスタートでの絵本贈呈等の活動を実施することができた。</p> <p>○移動図書事業については、低学年と高学年に分けて実施したことで、より子どもたちの図書に親しむ機会の充実に寄与することができた。</p> <p>△図書館利用の促進については、選本等の吟味・工夫が必要である。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館等との連携強化や各種研修会への参加による職員の資質向上を図り、多様な町民ニーズへ対応していく。 ・読書活動推進員と情報交換を行うことにより、子どもたちのニーズを把握しながら、選本を吟味したり、より本に親しめるような工夫を凝らしたりすることで、図書館の更なる利用促進につなげていく。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、可能な範囲で事業を実施できるよう努めていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化振興費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	06	文化振興費

2. 事業の目的

事業の目的	地域を活かした朝日町らしい芸術文化活動を高める。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化祭 町芸術文化協議会支援（28 団体、2 個人） 11/2～3 第 57 回芸術文化祭【コロナ禍のため中止】 ※芸文協加盟団体に対して芸文祭への出演意向調査（8/10）を実施し、その結果をもとに常任理事会（8/31）及び理事会（9/3 書面協議）で協議し中止決定 →9/22 各理事及び各学校へ通知、10/1 お知らせ板で全戸に周知 ・「美の探訪」【コロナ禍のため中止】 ※常任理事会（8/31）及び理事会（9/3 書面協議）で協議し中止決定 →9/22 各理事に対して通知し、理事より各会員に周知 ・創遊館展示（ギャラリー・フォーラム） ①最上三十三観音スケッチ展【R4 へ延期】、②教科書展示（6/1～12）、③田畑で使用した民具展示（6/17～7/6） ④芸文祭 11/2～17【コロナ禍のため中止】、⑤県立楯岡特別支援学校作品展（10/15～30） ⑥生涯学習推進大会展示（2/19～3/1）、⑦「冬季に使用した民具」2/10～2/27 ・ホール事業 「山響ハートフルコンサート in 朝日町」（12/9）定員 156 人 チケット販売 一般 147 枚 高校生以下 9 人 当日入場者数 一般 142 人 高校生以下 8 人 ・中央公民館 「文化講座」 9 講座 参加者 82 人（7/31、8/28、9/2、11/25、12/10、12/11、12/17、1/20、3/13、14） 「親子講座」 1 講座 参加親子 15 組 34 人（7/22）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	713,000	決算額	678,983	差引額	34,017
-----	---------	-----	---------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○新型コロナウイルス感染症対策が比較的取りやすい文化講座は、前年度参加者の意見を参考とした講座の開催や講座数を増やしたことにより、コロナ禍においても申込者数の増（82 人→116 人）につながった。</p> <p>△町芸術文化協議会加盟団体を構成している会員の減少や高齢化が進んでいる。</p> <p>△切れ目ないギャラリーの活用は出来ていないが、少しずつ展示（相談）回数は増えてきている。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・くらしに彩りを添えられる「文化講座」となるよう、今後もニーズに沿った講座を企画するとともに、講座内容を動画にまとめて PR する方法等について検討していく。 ・芸術文化協議会をはじめ関係者との検討を深め、新たな体制や運営を考えるとともに、活動内容などに関する積極的な情報発信や体験する場の提供を検討していく。 ・ギャラリーの活用については、常時展示会等を開催できるよう情報収集を強化していく。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、可能な範囲で事業を実施できるよう努めていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	保健体育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	保健体育費
	目	01	保健体育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が生涯スポーツ活動に取り組める。
-------	--------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の設置（委員8人） ・町体育協会主催の各種大会への支援（R3実施競技：剣道、柔道、野球、グラウンド・ゴルフ、ゴルフ）（体育協会加盟団体13団体、会員数504人） ・第38回アップル町民駅伝競走大会【コロナ禍のため中止】 ※検討会（6/29）において、多くのチーム代表者からコロナ対策が困難であるなど理由から出場参加不可能との意見があり、実行委員会（7/29）の協議を経て中止決定 →8/12発行お知らせ板及びホームページで、町民等に対して周知 ・県縦断駅伝（4/27～29）、西村山地区駅伝（11/14）への支援（コロナ対策を講じて2年ぶりに開催） ・山形県ジュニア駅伝競走大会（蔵王坊平）【コロナ禍のため中止】※R4以降は廃止を決定 ※クロスカントリー大会は継続して実施予定 ・ミズノ連携事業 ジュニアマラソンクラブ及び町スポ少合同コンディショニング教室（8/21）【2回開催予定→1回実施】 小学校走り方教室（4/22）、泳ぎ方教室（7/9）、中学校コンディショニング教室（12/8）の開催 ・全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金の交付（個人12件、団体0件）180,000円 ・町体育協会への各種スポーツ大会の運営支援 補助金723,000円 ・総合型地域スポーツクラブ運営支援（5教室（7コース）50人、ジュニアマラソンクラブ14人）補助金1,660,000円 ・スポーツ少年団の育成、支援（8団体 団員数107人）補助金253,000円 ・小学校スキー記録会（2/2）【コロナ禍のため中止】 ※大会役員・競技役員による打合せ会（12/10）において、中止の判断基準を確認。基準日以降、感染拡大傾向となったことから大会会長（教育長）が中止を決定→1/27関係各所に対して、通知により周知 <p>【予算と決算の差引額が多い理由】 スキー記録会の中止、体育協会及びスポーツ少年団補助金の減額のため</p>
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	5,534,000	決算額	4,432,337	差引額	1,101,663
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○体協主催の各種大会、スポ少活動、総合型地域スポーツクラブなどの運営支援とともに、ウィズコロナの観点を踏まえたスポーツ活動に向けた支援を行い、スポーツに取り組める機会を提供することができた。</p> <p>○各種スポーツ団体や大会の運営、全国大会出場者に対する支援を行い、町民のスポーツ振興に努めることができた。</p> <p>△町民の多様なニーズに対応したスポーツに触れられる機会や施設等の環境が整わない。</p> <p>△部活動の地域移行の準備・対応について早急な検討が必要となっている。町単独での解決は非常に困難になることが想定される。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、可能な範囲で事業を実施できるよう努めていく。 ・各種スポーツ団体への支援と各種大会運営に対する支援、全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金等を継続していく。 ・「ミズノとの連携事業」は町全体で推進しており、各部署で連携内容を検討し様々な事業を展開している。教育委員会においても、小中学校における運動教室の開催や朝日ふれあいスポーツクラブのジュニアマラソンクラブに対する講師派遣を行っており、今後もニーズに応じた事業が展開できるよう連携を強化し検討していく。 ・部活動の地域移行について、地域スポーツ団体との関わり方や、活動のニーズに応じた施設環境の整備など、移行における課題の整理、情報の収集に努めていく。また、町単独での対応と並行し、近隣市町等との連携を図り、広域的な取り組みとして検討を行い、子どもたちの選択肢を狭めることがないよう努めていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	体育施設管理費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	02	体育施設費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が利用しやすい施設運営をする。
-------	-------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町民体育館の管理委託 2,006,518 円、清掃業務 52,200 円 一般利用人数：R3 4,778 人（町民 1 人当たりの利用回数 0.74 回）複数回・長期間の利用制限での使用なし R2 4,834 人（町民 1 人当たりの利用回数 0.75 回）中体連等の強化練習での使用なし R1 8,459 人（町民 1 人当たりの利用回数 1.27 回）他中体連、新人戦強化練習にて使用 ・緑が丘公園町民プール【7/22～8/22（営業日数 32 日）】管理監視業務 5,246,560 円、ろ過機保守点検 33,000 円 利用数：1,134 人（中学生以下 832 人、高校生以上 302 人） ※R1：2,024 人 （町民 1 人当たりの利用回数 R3：0.18 回、R2：0 回、R1：0.30 回、H30：0.34 回、H29：0.26 回） ・夜間照明（管理業務委嘱）12,180 円 中学校及び朝日町野球連盟、ジュニアマラソンクラブで使用 <p>【予算と決算の差引額が多い理由】 町民プール開設期間の短縮や水道料金の減免に伴い、光熱水費に係る支出が大幅に減となったため</p>

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	13,571,000	決算額	12,203,438	差引額	1,367,562
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○町民体育館については、コロナ禍のため、引き続き使用を制限せざるを得なかったが、団体利用者は若干減少（R2：2,445 人→R3：2,165 人）したものの、個人利用者は増加（R2：2,389 人→R3：2,613 人）傾向にある。</p> <p>○常に安全な施設管理を行うように努め、町民のスポーツ活動支援に寄与することができた。</p> <p>○町民プールについては、感染対策を徹底しながら開設することができた。利用者数は、小学校水泳記録会の廃止や中学校水泳授業の中止により全体としては減少しているが、一般利用者で比較すれば横ばいで推移している。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び備品の現状把握に努め、実施計画に基づき計画的に管理、整備をしていく。

令和4年度 朝日町教育委員会「事務事業点検・評価報告書（令和3年度分）」

令和4年8月

〒990-1442

山形県西村山郡朝日町大字宮宿 2265 番地

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」内

朝日町教育委員会 教育文化課

電話 0237-67-2118 Fax 0237-67-3375
